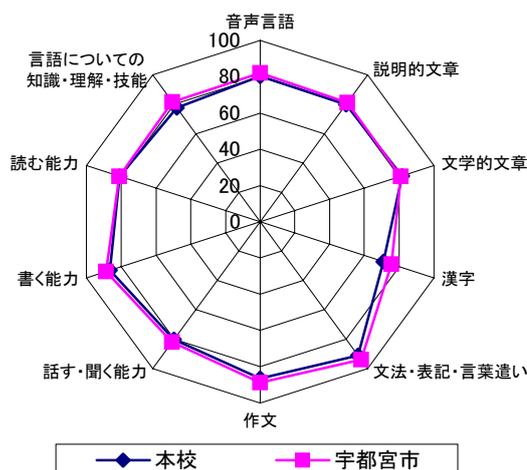


宇都宮市立上河内中学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	80.3	82.0
	説明的文章	80.0	81.2
	文学的文章	81.8	81.0
	漢字	70.9	75.5
	文法・表記・言葉遣い	91.1	94.0
	作文	86.4	88.8
観点別	話す・聞く能力	80.3	82.0
	書く能力	86.4	88.8
	読む能力	80.9	81.1
	言語についての知識・理解・技能	77.7	81.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (80.3%)	本市の状況とほぼ同じである。また正答率が80%以上を達成したので、定期テストや授業で繰り返し、話し方や聞き取り方の訓練を続けたことの成果が出てきている。	今後も、テストや授業の教材を活用して、正しくまた要点を絞って聞き取ったり、場面や相手に合わせて分かりやすく話したりする場面を多く設けて理解度を上げ、実生活で生きる力を養っていく。
説明的文章 (80.0%)	本市の状況とほぼ同じである。また正答率が80%以上を達成したので、授業やテストで、要旨や構成を把握する問題を数多く行ったため力がついてきている。	今後も、要旨や構成に配慮して内容を正しくつかむ力を養うとともに、段落のキーワードを的確に把握する訓練を積むと理解力が高まることを実感させ、長文読解への苦手意識を払拭する。
文学的文章 (81.8%)	本市の状況とほぼ同じである。また正答率が80%以上を達成したので、授業で登場人物の心情の分析や展開を丁寧に追う習慣が身に付いてきた成果だと考えられる。	今後も、心情や展開を丁寧に追いながら読むことで内容をきちんと捉えていくとともに、語彙を豊かにしたり、表現の効果に注目したりして、主題や心情の変化にさらに迫って読解力を高める。
漢字 (70.9%)	本市の状況と比べると4.6ポイント下回っている。反復練習やテストへの消極的な取り組みや、日常的に辞書を活用して調べる習慣が身に付かないことに課題がある。	今まで以上に、漢字の課題や復習テストを増やしていく。また、辞書を活用する授業を多く設け、読書や表現活動の際など、日頃から辞書を活用する習慣をしっかりと身に付けさせる。
文法・表記・言葉遣い (91.1%)	本市の状況とほぼ同じである。また、正答率が90%を上回っているため、授業で復習を繰り返し、間違いやすい問題の解説を行って知識を積み上げた成果が出ている。	今後も、授業で繰り返し復習や解説を行うことで知識を増やしていくとともに、日常の様々な表現活動の中で、正しい文法や表記、言葉遣いを心掛けていく姿勢をもたせる。
作文 (86.4%)	本市の状況とほぼ同じである。また、85%を上回っているため、授業や定期テストで基本構成を身に付けさせ、文章の推敲をする訓練を積んだことが力となっている。	今後も、書く活動を多く取り入れ、構成や正しい表記を考えさせるとともに、目的や場面に応じて効果的な書き方の工夫を図って、自分の意見をしっかりと伝えられるように指導していく。